

自己紹介

江口 悦弘 (えぐち えつひろ)

日経BP 日経パソコン編集長 ・ 教育とICT Online編集長
大阪教育大学 客員教授

- 1990年 中央大学 法学部卒業
- 1990年 日経BP入社
- 2010年 日経WinPC 編集長
- 2020年 日経パソコン編集長 ・ 教育とICT Online編集長
- 2025年 大阪教育大学 客員教授



日経BPのメディア

経営（ビジネス）、技術（テクノロジー）、生活（ライフスタイル）の広い分野で先端・専門メディアを発行。最新のトピックスを深く掘り下げた信頼性の高いコンテンツを日々配信しています

ネット **19** メディア



日経ビジネス 日経XTECH
日経XTECH ACTIVE 日経Gooday
日経Xwoman 日経Xwoman
日経DI ONLINE 日経バイオテック ONLINE 日経XTREND
日経BOOKPLUS 日経GAMING

雑誌 **23** メディア



日経ビジネス Woman
日経マネー 日経マイナビ 日経ヘルスケア
日経DI 日経パソコン 日経PC21 日経TRENDY
NIKKEI DESIGN 不動産マーケット情報
日経コストラクション 日経アーキテクチャ NIKKEI Robotics
日経NETWORK 日経ソフトウェア Sources of Innovation 日経エレクトロニクス
日経モノづくり 日経Automotive 日経ESG
日経コンピュータ 日経バイオテック TOP LEADER

日経パソコン

1983年創刊

NIKKEI PERSONAL COMPUTING

日経パソコン 2025 5.26

特集1 達人たちに学ぶ
生成AI驚きの最前線

有能なリサーチャーに仕立てる／プレゼン作成に音声入力を活用／
音楽アルバムを丸ごと制作／手描き風イラストの魔法／

特集2 “タブレット読書術”で
人生を豊かに

紙の本から乗り換える理由とは？／電子書籍に最適な端末はどれ？／
Kindleで購入しアプリで楽しむ／電子書籍ならではの活用方法



今号の注目記事

- レビュー iPhone 16e アップル
- 新製品 法人向けのDell Pro Max 16などを発売
- 教える Windows付属のCopilotを使いたい
- ファイル 1名前の付け方でファイルを見つけやすく
- スペック 1パソコンの接続端子は同じ形状でも機能に違い
- スマホ 個人商店でも使えるコード決済
- IT知識 ICT支援員認定試験を受けてみよう
- iPad Office文書やPDFは簡単に使える？
- Word 文字列を変形してデザインの一部にする
- Excel 分割や結合でデータの項目を再構成する
- Python 入力値を処理する単位変換アプリを作る

日経パソコン 教育とICT 教育とICT ONLINE



<https://project.nikkeibp.co.jp/pc/>



日経パソコン 教育とICT
教育・教育関係者向けにICT活用教育の最新トレンドを
解説。季刊。全国の教育員会に無料で配布



教育とICT Online
ICT活用教育に関するニュースと
解説を掲載

教育関係の書籍



個別最適な教育を実現する
ラーニングアナリティクスの
基本から最新研究、実践事例、
ツールの導入法まで網羅



教育分野におけるデータ分析
の重要性を認識し、その必要
なスキルを身に付けるための
1冊



大学生が身に付けたい情報リ
テラシーとパソコンスキルを
1冊で学べるテキスト

日経パソコンEdu

デジタル時代の学びを支えるコンテンツ

日経パソコンEdu

日経BPが発行する「日経パソコン」を中心に、専門誌と書籍の最新コンテンツをPDFで提供するクラウドサービスです

詳しい情報はWebサイトでもご覧いただけます
<https://nkbp.jp>

- 1 大学・高等学校の1人1台端末に最適
定額で1年～4年間、専門書籍と専門誌の最新コンテンツが読み放題の
- 2 高校「情報I」に対応した自動採点デ
国立大学の受験に必須となった「情報I」に対応したコンテンツが授業と
- 3 AI・データサイエンスの授業に活用で
大学における授業と自学自習に使えるデータ分析やプログラミングなど
- 4 図版や写真を自作の教材にコピーし
提供するコンテンツは原則として著作権処理済みなので、教材にコピー
- 5 1冊丸ごと読める専門書籍と連携テキ
通常価格が2000円以上の書籍を多数収録。高校、大学、教員向けのデ

※教材等に2次利用するには、原則として授業の受講者全員がライセンスを購入する必要があります。また、一部に2次利用で

使えば簡単! ChatGPT 入門 第4回

ChatGPTの能 さまざまな用途で生

ChatGPTは、幅広いテキストコンテンツを生み出せる。そうは知っていても、試してみないと実い。講座の第4回では、生成できるコンテンツのバリエーションを見ていこう。仕事や生活でChatGPTを活用できることを体感してもらえらう。

いろいろな文章の作成を支援

レシピを作っ
トの使い方
えて
ChatGPT
多彩に変身

ChatGPTが多様なことは、この講座でりだ。指示（プロンプ）することで、幅広い分野を提供してくれる。まるアシスタントを何人ように使える（図1）。

仕事のアイデア出し
ビジネスでは、アイれることが少なくないてくるときはよいが、でこないこともある

Excelで学べる データサイエンス入門講義

多くの大学が文系も理系も必修化
データ分析と統計の基礎が身につく

分散 標準偏差 相関 回帰 確率分布 統計的推定 仮説検定 時系列解析

数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラムにも対応

本当に分かる ディープラーニングAI

第1回 AIとは、ディープラーニングとは何か?

この連載ではディープラーニングの仕組みを基礎から解説する。第1回はAIやディープラーニングとは何かを言葉の定義から確認し、基礎となる仕組みを紹介する。文：立山 秀利

●ますます広がるAI活躍の場

本連載では、ディープラーニングの仕組みの概要を、一般の読者でも分かるようかみくだいて解説する。難しい数学が登場しそうですが、中学数学レベルにとどめるので、安心して読み進めてほしい。

AI（Artificial Intelligence：人工知能）とは、人間の知覚や知性などをソフトウェアによって人工的に再現する技術の総称だ。現在、さまざまな分野で実用化されている（図1）。その代表が画像認識だ。スマートフォンの顔認証をはじめ、自動翻訳といった言語処理やショッピングサイトのお薦め商品の表示など、幅広い分野で活用されている。

実はAIの歴史は古く、1950年代から開発が進められてきた。これが2000年代になると機械学習という手法でブレイクスルーを遂え、一気に実用性が向上した。これをさらに発展させたディープラーニングの登場によって現在の水準の実用化に至った。

●データから、ルールを基に予測

データをAIで予測結果

1 当日の最高気温からアイスクリームの販売数を予測
35度 → AI → 150本

2 写真を見ただけで猫に分類
写真 → AI → 犬or猫

AIとは？ 機械学習とは？
一般的なAIの機能を簡潔に表すと、「与えられたデータから、ルールに従って予測する」ことだ（図2）。ここでいう「データ」とは予測の元となる数値や画像などを指す。「ルール」とは予測の根拠となる規則や傾向や法則性のことだ。ごく単純な例が、あるイベント会場で、当日の予想最高気温から、アイスクリームの販売数を予測するAIだ。データとして予想最高気温を入力すると、ルールに

しを依頼

広報担当者で、「スマートファクトリ」ディテールを作っています。このディテール(1)別巻掲載。(2)サイト全体のディテールについて、それぞれ掲載のアイデアの出し方を加記

1. スマートファクトリーの基礎：読者がスマートファクトリーを理解できるように記事を作成することで、読者の関心を惹きます。

2. 成功事例：実際にスマートファクトリーを導入し、成果を上げた企業の事例を取り上げることで、導入のメリットを強調します。

3. 重要に役立つ企画：

1. ウェビナー：スマートファクトリーに関連する専門家を招き、ウェビナーを開催して専門知識を提供します。参加者には事前登録を促し、オウンドメディアの認知を高めます。

2. コンテンツ連動キャンペーン：スマートファクトリーの導入事例や企業情報を提供する記事に連動して、SNSキャンペーンを展開します。シェアやコメントを促進し、オウンドメディアの読者拡大に貢献します。

掲載ごとにアイデアを提案

5. 彼らがスマートファクトリーの導入の進化について学びたいでしょう。

6. の向上や生産性向上の方法として、と関わりましょう。

7. ートファクトリーの発展に関する技

8. 術。オウンドメディアを成功に導くアイデアを、「対談録」「記事構成」「企画」に分けて考えるようそれぞれの記事を返してきた

学びを変える ラーニングアナリティクス

緒方 広明、江口 悦弘 著

ラーニングアナリティクスへの関心が高まる中、研究の第一人者である京都大学の緒方広明教授が最新の研究を解説した「学びを変えるラーニングアナリティクス」が発売。緒方研究室が開発し、既に多くの大学・高等学校などで導入や実証が進む「LEAF」と「BookRoll」を中心に、ツールの導入方法や実践事例も紹介している。

